

定格熱出力一定運転

概要

○原子炉で発生する熱(原子炉熱出力)を定格値付近で一定に保つ運転方法が「**定格熱出力一定運転**」であります。
一次冷却材のほう素濃度の希釈や蒸気加減弁操作により熱出力が定格値付近で一定となるよう調整しているものであります。

○定格熱出力一定運転では、原子炉の熱出力を一定に保って運転するため、海水温度が低く、復水器の真空度が高いときには定格電気出力より多くの電気を作ることができます。

* 大飯3号機の場合
定格熱出力 342万 3千キロワット
定格電気出力 118万 キロワット

イメージ図

